



船橋選抜チーム初優勝!!

十一月二七日より開催された第十回地域対抗六年生選抜大会で、船橋地域選抜チームは、十二月四日QVCマリンフィールドで決勝戦を行い、東総地域選抜チームを八対〇で破り、待望の初優勝を飾りました。大会の詳細については次号で特集します。



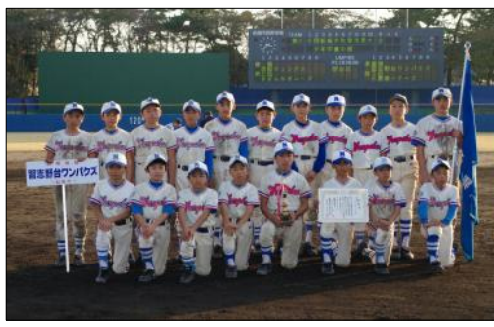
発行 船橋市野球協会少年学童部

西船ウインクス初優勝 第三十六回秋季大会

第三十六回船橋市秋季市民大会少年学童の部は各支部予選を勝ち抜いた十六チームにより行われました。十一月十三日運動公園球場での決勝戦に臨んだのは西船ウインクスと習志野台ワンパクズの二チームで昨年の新人大会決勝戦と同一カードになりました。



対するウインクスは四回までヒット一本に押さえられていましたが、五回裏一死後六番中林君のヒットと連続四死球で満塁とし、九番竹岡君のライト前タイムリーで一点を返し、なお満塁。しかし、三塁ランナーが捕手の牽制でタッチアウト、大きなチャンスを逃しました。



二時間を超える試合でしたが見ごたえのあるゲームでした。なお、西部支部所属チームとしても秋季大会初優勝です。準優勝は習志野台ワンパクズ、第三位はさざんかポニーズ、小栗原ベアーズ。



江藤省三杯争奪 第三十四回船橋市 少年学童野球新人大会

昨年の低学年大会で優勝したものの、今年の春季大会では初戦で惜敗した三山スワローズが実力を発揮し、平成十七年以来二度目の優勝を果たしました。

江藤省三杯争奪第三十四回船橋市少年学童野球新人大会は三十八チームが参加し、九月十七日運動公園球場で開会式を行い、約二ヶ月にわたる戦いの火蓋がきられました。決勝戦は十一月十三日、本大会後援者である慶応義塾大学野球部江藤省三監督を迎え開会式と同じく運動公園球場で行われました。



試合は先攻のスワローズが初回いきなり二点を挙げ、その後も三回を除き毎回得点を重ね七回までに十得点。一方エイトマンは二回に一点を返すものの、スワローズ中島捕手のファインプレー等で追加点を奪えず、最終回の反撃も一点に抑えられ、結局十対二と大差がついてスワローズが二度目の優勝を果たしました。

決勝戦終了後、直ちに表彰式が行われ、優勝した三山スワローズに江藤省三杯がご本人より授与されました。

なお、準優勝は前原エイトマン、第3位は西海ドラゴンズ、習志野台ワンパクズでした。

ワンパクス圧勝 第十七回低学年大会

第十七回船橋市少年学童野球低学年大会は三五チームが参加し、七月三日から始まりました。

九月四日の決勝戦に進出したのは、準決勝戦で西船ウイングスを五対二で突き放した習志野台ワンパクスと、西海ドラゴンズを逆転で破った薬円台リトルスターの対戦となりました。

豊富グラウンドA面で行われた決勝戦は、後攻のワンパクスが初回、相手守備の乱れから二点を先制、二回に二点、三回は連続四球で七点を挙げ、規程により三回コールドで圧勝しました。

リトルスターはエラー



優勝した習志野台ワンパクス

と四球で二名のランナーを出しましたが、ワンパクス二投手にノーヒットに抑えられ、無得点に終わりました。

習志野台ワンパクスは平成十八年第十四回大会以来三度目の優勝を飾りました。

なお、決勝に進んだ二チームは十月に行われた千葉県少年野球低学年大会に出場しました。

習志野台ワンパクスは県低学年大会(ロッテ旗杯)でもその強さを発揮し見事優勝しました。

ロッテ旗杯の優勝は、平成十五年以来三度目となります。



準優勝の薬円台リトルスター

第三十六回船橋市少年学童野球選手権大会

第三十六回船橋市少年学童野球選手権大会(夏季大会)は最終試合を優勢に進めた習志野台ワンパクスが田喜野井ターキーズを下し、二年ぶり三回目の優勝を果たしました。

春のベスト4が全て消えた今大会の準決勝戦は八月二十九日、決勝戦当日の午前に行われました。

運動公園球場での試合は、初回到三点を先取し小栗原ベアーズの追撃を二点でかわした田喜野井ターキーズが、また、藤上グラウンドでの試合では同じく初回到三点を挙げた習志野台ワンパクスがその後得点を重ね高郷



優勝 習志野台ワンパクス

スターズを突き放し、それぞれ決勝に進みました。

決勝戦では、二回表に八番久芳君のライトオーバートのツーランホームランで先制したワンパクスが、三回、六回にもスクイズで着実に加点し、ターキーズの反撃を投手の継投によりヒット二本、一失点に抑え五対一で、第三三回、第三四回大会の連覇以来二年ぶりの優勝を果たしました。

ワンパクス、ターキーズ、第三位の高郷スターズ、小栗原ベアーズの四チームは十月に行われた少年野球千葉県選手権大会(ろうきん旗)に出場しました。



準優勝 田喜野井ターキーズ

初芝清野球教室

平成二十三年十一月三日(祝)、初芝清後援会のご協力の下、豊富グラウンドにおいて五・六年生対象に行われました。

講師は元千葉ロッテマリーンズ・初芝 清氏。

元ヤクルトスワローズ・大川 章氏。元横浜大洋ホエールズ・市川 和正氏(珍プレーで有名)。元千葉ロッテマリーンズ・内藤 尚行(ギヤオス)氏の四名。

野球教室は挨拶後、選手組と父兄組にわかれて開始されました。

選手組はギヤオス内藤選手の大きな声によく反応し体操・ベースランニング・バッティング等々が行われました。

少人数とはいえ初芝講師の一人一人に指導は的確でバッティングは特に選手が目を見ていました。

父兄組は大川講師のもと、健康管理や普段の姿勢が重要と貴重な話を聞きました。特に姿勢に関しては多くの父兄がメモを取り真剣な表情にて聞いていました。

今までにない充実した野球教室でした。



関東学童予選千葉県大会 西船ウイングス 第三位

平成二十三年度の関東学童軟式野球千葉県大会は七月十日より県内各地域代表十六チームが参加して行われました。千葉県総合運動場(天台)軟式野球場で行われた開会式では船橋代表の西船ウイングス主将の峯川昌也君が元気よく選手宣誓をしました。今大会は学校行事のため参加できない春季大会準優勝の寛見パワーズに代わり、規程により第三位の西船ウイングスが出場することとなりました。



選手宣誓をする西船峯川主将

一六日の二回戦では印旛地域の富里Rエンゼルズに六対〇で勝利し最終日に駒を進めました。準決勝戦では千葉B地域の磯辺シャークスと対戦しましたが、二点を先制したものの追加点が取れず五対二で敗れ、第三位に終わりました。

決勝戦は柏地域の豊上ジュニアーズを五対三で下した千葉地域Aの院内イーグルスと磯辺シャークスの千葉地域同士の戦いとなりました。磯辺は最終回に三点差を追いつかれましたが、その裏サヨナラで昨年に引き続き優勝しました。

なお、磯辺シャークスは八月に駒沢球場で行われた関東学童大会でも優勝し、大会二連覇を達成しました。



第二回東武鉄道杯 野田線沿線少年野球大会 流山二連覇

今年で二年目を迎えた、東武鉄道杯野田線沿線少年野球大会は十月八日午後五時、野田市総合公園野球場においてナイター照明に照らされ挙行されました。

大会は翌九日より東西夫々のブロックに別れ始められました。東部ブロックの試合は松戸市内のグランドで開催され、船橋市からは春季Bリーグの成績で選ばれた藤上ディーズ、ツインドルフィアーズ、ホワイトビーストロング、宮本ビーバースの四チームが出場しました。

初日の二試合を勝ち抜いたのはツインドルフィアーズと宮本ビーバースですが、ブロック準決勝で



この二チームが対戦し、ツインドルフィアーズが最終日の本戦決勝をかけたブロック決勝に進こまを進めました。

ツインドルフィアーズは柏市の松葉セラミックスとブロック決勝を戦いましたが一対〇で惜敗し野田線大会優勝の夢は途切れました。

本選決勝は西部ブロック優勝の流山市カージナルスと松葉の戦いでしたが、後半得点を重ねたカージナルスが優勝し、流山のチームが二連覇を果たしました。

船橋勢の成績は、ツインドルフィアーズはブロック準優勝、本大会三位、宮本ビーバースはブロック大会三位でした。



なお、東武鉄道杯の詳細についてはホームページをご覧ください。
<http://www.tobucup.com>

第十二回 女子オールスター 八千代親善

船橋 4240322
八千代 0001300
恒例となった、船橋オールレディースと八千代選抜の親善試合は十一月二十三日豊富球場で行われました。

船橋オールレディースは初回到四点を先取、その後も四回を除き毎回得点の猛攻で一七点を挙げ八千代選抜の反撃を三점에抑え勝利しました。これで船橋チームは六連勝、通算の対戦成績を一一勝一敗としました。



二死満塁

今年も余すところ数えるほどになってしまいましたがいつものことながら予定どおり発行できないホームランニュースです。今年には総会前に大震災が起り、大変な一年でしたが、派遣大会では船橋勢の活躍には顕著なものがありました。

県大会の日報杯では夏見台アタックスが三位、夏見パワーズ、習志野サンデーズがベスト8入賞、ろうきん旗では習志野台ワンパクス、高郷スターズがベスト8。そしてロッテ旗では習志野台ワンパクスが優勝、最後の六年生選抜大会でも船橋地域が初優勝を飾りました。記事にもあるように、関東学童予選で西船ウイングスが三位に入賞です。

地域大会でも、船橋市が開催した東葛少年野球春季大会で習志野サンデーズが優勝しました。県大会の成績をポイント換算すると二三年度の成績は船橋が一番だそうです。

来年も船橋のチームが好成績を納められるように皆で頑張りましょう。

支部情報のページ

北部支部の今昔物語

こんにちは、平成二二年より北部支部長をしております「小室ライオンズ」代表の飯島です。

学童部ホームランニュースに初めて北部支部が紹介されるといふことで何を書いたらいいかわからず思案した結果ここはやはり北部支部の生い立ちと現在を紹介しようということに致しました。

船橋市の北部に位置して一九七六年二チームに発足して最大は二〇チームまで発展していきましたが、少子化等の影響なのか現在は五チームにまで減少してしまいました。その為現在ではリーグ戦を行って年間試合数が減ってしまい子供達には寂しい思いをさせてしまっているのかなあと支部長としても残念です。



北部支部としての試合

は中央大会支部予選、教育リーグ戦、選手権、研究会、等ありましたが、現在はA、B、Cリーグ戦と秋季大会支部予選があります。また東部支部と共催にて船橋東警察署長杯を隔年ごとに担当支部として開催しております。

北部支部所属チームの戦績としましては、一七八年に選手権大会にて「二和タイガース」が北部支部として初めて船橋市で優勝を致しました。

また一九九四年は「小室ライオンズ」が関東学童マクドナルド杯にて千葉県大会優勝をして関東大会に出場いたしました。学童部の前半期は北部支部のチームが船橋市の大会にて優勝しております。

「神保イーグルス」「坪井バンデッツ」「北総イーグルス」等また近年は「さざんかポニーズ」が二〇〇七年選手権大会優勝、二〇一〇年秋季大会優勝や二〇〇四年より加入いたしました「大穴ペガサス」が千葉日報杯

やロッテ旗等の千葉県大会出場する等活躍を致しております。一九八六年より「船橋東警察署長杯」が開催されまして一九九一年「小室ライオンズ」二〇〇七年「さざんかポニーズ」がそれぞれ優勝しておりますが、全体としては東部支部に大分優勝をさらわれているという状況です。北部支部の現状は前段にて紹介したとおり所属チームが昨年より二チーム減りまして五チームです、その五チームも今後はどうなるのか分かりません。

北部支部のチームは他の支部のチームと違いとても恵まれており専用グラウンドはあるのですが逆に、子供が少ないという状況です。どちらが良いのか・・・まあ支部長としては、試合日程を組んだりするのは楽ですがやはりチーム数や子供が少ないというのは寂しい限りです。今後は学童部全体の問題として考えていくしかないのかなあと感じています。

まああまり悲観的なことばかり言っても仕方がなく前向きに捉えるとしてチーム数や人数が少な

い分、支部対抗戦などは全チームより選抜しての北部支部選抜として参加出来るので毎年良い成績が残せているのかなあと思います。子供達も選抜チームに参加することがある意味での目標になればと考えています。今年三月十一日に「東日本大震災」があり翌々日北部支部の開会式でしたが、検討した結果子供達を思いあえて開催をしました。入場行進はしないで代わ

りに参加者全員で黙とうを捧げ、六年生にとつては少年野球の最後の年に大変なことになりましたが、元氣よく参加して頂きました。

三月より始まったリーグ戦も佳境を迎えリーグは終了し、Bリーグは優勝決定戦を行うだけに、Aリーグは最後の1廻りとなりました。6年生はこれで少年野球が終わりです、中学生になつて進む道はそれぞれです



北部支部リーグ戦開会式

が、出来る事なら野球を続けて頂ければうれしいです。そして将来大人になつても野球を好きでいてください。

高瀬の工事状況

十月以降下水処理場増設工事に伴う改修工事のため使用できなくなつて

いる高瀬運動広場ですが、十月十七日に事務所、コテナの整理を終えた後、十一月後半に工事着手し、現在造成の真つ最中です。各面の配置等については当初予定と若干変更がありそうですが、このまま予定通り進捗すれば四月には一部使用可能になる予定です。

また、大震災により被災した若松公園球場も復旧工事が始まりました。こちらは芝張り等の関係で六月に工事完了となり七月から使用可能となる予定です。

